

Introduction



アメリカン・コミックの中でもとりわけアーティスティックでオルタナティブなジャンルとして知られるグラフィック・ノベル。その作家であるダッシュ・ショウが自ら監督を努めた初の長編アニメーション映画が本作だ。ショウの

サイケデリックな色彩感覚とヘタウマなタッチは、目眩のするような視覚体験をもたらしてくれる。ジェイソン・シュワルツマンやレナ・ダナム、スザン・サランドンら豪華声優陣も好演。作品にユーモアを与えている。



タイズ・ハイスクールに通う冴えない高校生のダッシュ（ジェイソン・シュワルツマン）は、親友のアサーフ（レジー・ワッツ）、ヴェルティ（マーカ・ルドルフ）と共に学校新聞を発行している。しかしダッシュ渾身の特集記事は見向きもされず、編集長のヴェルティが新たに完成する視聴覚室についての記事をアサーフに書かせると決めたことで、嫉妬に駆られたダッシュはアサーフたちを誹謗中傷する号外を勝手に発行。すると間の悪いことに、学校新聞がグリム校長（トマス・ジェイ・ライアン）に見咎められ、呼び出しをくらってしまう。

イヤなこと続きで落ち込むダッシュだったが、ひょんなことから忍び込んだ資料室で、視聴覚室建設をめぐる校長の不正の証拠を発見。高校が危機に瀕していることに気づく。新しい視聴覚室は耐震基準を満たして

ボクの高校、海に沈む
My Entire High School Sinking Into the Sea
2016年 | 75分 | アメリカ
監督: ダッシュ・ショウ
製作: カイル・マーティン | クレイグ・ゾベル | ダッシュ・ショウ
製作総指揮: ジョシュア・ブラム | タイラー・デビッドソン
脚本: ダッシュ・ショウ
編集: アレックス・エイブラハムス | ランス・エドマンズ
音楽: ラニ・シャロン
声の出演: ジェイソン・シュワルツマン | レナ・ダナム | レジー・ワッツ | マーカ・ルドルフ | スザン・サランドン | トマス・ジェイ・ライアン



おらず、校舎が崩壊する可能性があるというのだ。ダッシュは周囲に危険を伝えようとするも相手にされず、逆に資料室に侵入した上で、没収された携帯電話を探していたメアリー（レナ・ダナム）と共に鍵のかかった教室に閉じ込められる。

そんななか、ついに校舎の立つ断崖が崩れ、タイズ・ハイスクールは生徒・教員もろとも丸ごと海に沈んでしまった！ 海中には獰猛なサメがウヨウヨ泳いでいる。教室を抜け出したダッシュはアサーフとヴェルティを救助することに成功するが、水没した校舎を泳ぐうちに溺れてしまう。意識が遠のくダッシュを救ったのは、きわめて高度なサバイバル技術と驚異的な体力を持つ学食のおばちゃんロレイン（スザン・サランドン）だった。アサーフやヴェルティ、メアリーとも再会したダッシュは、ロレインの指揮のもと海面に浮上しようと試みる。

崩れゆく校舎、終末的状況下で正気を失った生徒たち……脱出への道のりには多くの困難が待ち受ける。果たして彼らは大海原を漂流する高校で生き延びることができるのだろうか？

監督・脚本: ダッシュ・ショウ

1983年生まれ。コミック作家、アニメーション作家。ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツ在学中から芸術性の高いコミックを発表し、雑誌などのイラストも手がける。2006年のグラフィック・ノベル「The Mother's Mouth」が「漫画界のアカデミー賞」とも呼ばれるアイズナー賞の審査員特別賞にノミネートされ、新進気鋭のグラフィック・ノベル・アーティストとして高い評価を受ける。手描きとフォトショップ、イラストと実写など、異なる技術やメディアを組み合わせることで創造されるシールな世界観は他に類を見ない。アニメーション作品にはストライドショー形式の実験的短編「Wheel of Fortune」(11)や「Blind Date」(11)、web アニメシリーズ「The Unclotted Man in the 35th Century AD」(09)、シガーロスの映像企画『世にも奇妙な映像実験』の一編として制作された「Seraph」(13、ジョン・キャメロン・ミッチェルと共に)、などがある。

ジェイソン・シュワルツマン（ダッシュ役）

1980年生まれ。父親は映画プロデューサーのジャック・シュワルツマン、母親は俳優のタリア・シャイア。伯父にフランシス・フォード・コッポラ、いとこにソフィア・コッポラやニコラス・ケイジと、とにかく豪華な家系団の持ち主。17歳のときに『天才マックスの世界』(98)のマックス役で俳優デビュー。以降ウェス・アンダーソン監督作品の常連になり、『ダーリング急行』(07)、『ファンタスティック Mr.FOX』(09)、『ムーンライズ・キングダム』(12)、『ラ・ブラン・ダバースト・ホテル』(14)多くの作品に出演。最新作『大ヶ島』(18)では共同脚本も務めた。当然ながらコッポラ族からも引き合いかが多く、ロマン・コッポラ監督「CQ」(02)やソフィア・コッポラ監督『マリー・アントワネット』(06)にも出演。またCoconut Records名義で3枚のアルバムをリリースするなど、ミュージシャンとしての側面もある。

レジー・ワッツ（アサーフ役）

1972年、ドイツ生まれ、アメリカ育ちのミュージシャン、コメディアン、俳優。5歳のときテレビでレイ・チャーチルズの演奏を見て音楽のдорことなり、ピアノとバイオリンを学ぶ。アトルの音楽大学でジャズを専攻し、地元のバンドを掛け持ちしてマルチな音楽性を習得。その後ニューヨークに移住すると、2005年にコメディ映画『ウェット・ホット・アメリカン・サマー』からインスパイレーションを受けたというソロシングル「So Beautiful」を制作。インプロヴィゼーション主体で、ピューマンピートボックスもこなす自身のヴォーカルと最小限の機材で作りあげるパフォーマンスが話題を呼ぶと共に、コメディ業界でも注目を浴び始める。スタンダップ・コメディの「Why Shit So Crazy?」(10)、「A Livin Central Park」(12)を発表した後、テレビシリーズ『Comedy Bang! Bang!』(12~16)に出演して人気コメディアンとなった。現在はレイト&ショウ with ジェームズ・コーデン(15-)でバンドリーダーを務めている。